

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月10日

上場会社名 株式会社 セック

上場取引所 大

コード番号 3741 URL <http://www.sec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋山 逸志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 中川 美和子

TEL 03-5491-4770

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,450	14.1	114	—	156	1,460.7	88	—
23年3月期第2四半期	1,271	△4.4	△25	—	10	△84.9	△36	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	34.65	—
23年3月期第2四半期	△14.19	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,184	3,488	83.4
23年3月期	3,971	3,510	88.4

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,488百万円 23年3月期 3,510百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)23年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭(創立40周年記念配当)

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,900	7.8	200	82.6	300	45.1	170	111.9	66.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(平成23年11月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	2,560,000 株	23年3月期	2,560,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	255 株	23年3月期	255 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	2,559,745 株	23年3月期2Q	2,559,824 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定については、添付資料3ページ「当四半期決算に関する定性的情報」(3) 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、平成23年4月以降の月別売上高は平成23年8月まで前年同月比減少となっており、IT需要は低迷していると推察されます。加えて当社事業分野では、お客様からの価格引下げ要請が相変わらず強く、事業環境は、引き続き厳しい状況が続きました。

こうした傾向の中、当社は、重点テーマであります「他社差別化が期待できる技術提案力を強化して潤沢な商談量を確保する」を実践し増収増益となりました。

ビジネスフィールド（以下、ビジネスフィールドを「BF」と省略）別には、モバイルネットワークBFは、移動体通信事業者向けのオープンプラットフォームに関連する技術アプリケーションが堅調で、売上高は208百万円（前年同期比24.7%増）となりました。ワイヤレスBFは、Androidを搭載したスマートフォンのエンベデッドソフトウェアが増加し、売上高は698百万円（前年同期比28.3%増）となりました。インターネットBFは、不況の影響で開発計画の縮小や延期などが継続していますが、一部で回復基調になり、売上高は229百万円（前年同期比1.1%増）となりました。社会基盤システムBFは、官公庁系の大型技術アプリケーションが減少し、売上高は103百万円（前年同期比14.2%減）となりました。宇宙先端システムBFは、宇宙関連の開発計画の縮小や切り替え時期にあたり、売上高は120百万円（前年同期比17.9%減）となりました。また、ソリューションビジネスは、「地上デジタル放送用組込みソフトウェア——airCube」の販売などにより、売上高は90百万円（前年同期比37.7%増）と前年同期を上回りました。

全社売上高に占める割合は、モバイルネットワークBF、ワイヤレスBF、ソリューションビジネスが増加し、その他のBFが減少しております。

当第2四半期累計期間の研究開発・製品開発活動では、地上デジタル放送用組込みソフトウェア（製品名：airCube）のAndroid版の機能を拡張しました。またロボットに関する独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からの受託事業は、計画を一部変更したため、研究開発費が予定を下回りました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高1,450百万円（前年同期比14.1%増）、営業利益114百万円（前年同期は営業損失25百万円）、経常利益156百万円（前年同期比1,460.7%増）、四半期純利益88百万円（前年同期は四半期純損失36百万円）となりました。

ビジネスフィールド（BF）別売上高

ビジネスフィールド	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
モバイルネットワーク	166,816	13.1	208,009	14.4
ワイヤレス	544,619	42.8	698,716	48.2
インターネット	227,310	17.9	229,712	15.8
社会基盤システム	120,286	9.5	103,206	7.1
宇宙先端システム	146,618	11.5	120,426	8.3
ソリューション	65,568	5.2	90,292	6.2
計	1,271,220	100.0	1,450,364	100.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

ビジネスフィールド（BF）別受注状況

ビジネスフィールド	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
モバイルネットワーク	145,510	82.9	81,474	85.1
ワイヤレス	762,809	116.4	206,109	95.6
インターネット	246,977	82.0	137,326	92.6
社会基盤システム	152,209	88.3	118,342	143.4
宇宙先端システム	114,825	90.1	73,283	108.0
ソリューション	165,384	139.6	163,147	186.3
計	1,587,717	102.4	779,683	111.8

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ212百万円増加し、4,184百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加293百万円、受取手形及び売掛金の減少227百万円などによる流動資産の増加170百万円、無形固定資産の増加52百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ234百万円増加し、695百万円となりました。これは主に、未払法人税等の増加86百万円、賞与引当金の増加36百万円によるものであります。

純資産は、四半期純利益による増加、配当金支払いによる減少などの結果、前事業年度末に比べ21百万円減少し、3,488百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の88.4%から83.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ293百万円増加して、四半期末残高は1,946百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は476百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益152百万円及び売上債権の減少318百万円による増加によるものであります。前年同期と比較して400百万円の収入増となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果支出した資金は78百万円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出73百万円によるものであります。前年同期と比較して6百万円の支出増となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果支出した資金は101百万円となりました。これは、配当金の支払い101百万円によるものであります。前年同期と比較して25百万円の支出増となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成23年11月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,653,262	1,946,938
受取手形及び売掛金	1,046,907	819,614
その他	123,259	227,200
流動資産合計	2,823,429	2,993,752
固定資産		
有形固定資産	70,693	71,501
無形固定資産	103,687	155,697
投資その他の資産		
長期預金	500,000	500,000
前払年金費用	1,597	2,065
その他	472,159	461,127
投資その他の資産合計	973,757	963,193
固定資産合計	1,148,138	1,190,392
資産合計	3,971,567	4,184,145
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,294	21,049
短期借入金	36,000	36,000
未払法人税等	24,631	110,794
賞与引当金	170,000	206,000
その他	146,101	271,727
流動負債合計	417,026	645,571
固定負債		
役員退職慰労引当金	34,209	39,834
資産除去債務	9,999	10,076
固定負債合計	44,208	49,910
負債合計	461,235	695,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	587,341
利益剰余金	2,455,608	2,441,903
自己株式	△293	△293
株主資本合計	3,519,956	3,506,251
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△9,623	△17,587
評価・換算差額等合計	△9,623	△17,587
純資産合計	3,510,332	3,488,663
負債純資産合計	3,971,567	4,184,145

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	1,271,220	1,450,364
売上原価	980,182	1,044,428
売上総利益	291,038	405,935
販売費及び一般管理費	316,285	291,928
営業利益又は営業損失(△)	△25,247	114,007
営業外収益		
受取利息	5,713	4,384
受取配当金	320	375
補助金収入	24,739	35,142
その他	8,568	5,423
営業外収益合計	39,341	45,325
営業外費用		
支払利息	418	401
為替差損	2,911	1,800
不動産賃貸費用	744	740
営業外費用合計	4,073	2,942
経常利益	10,020	156,390
特別損失		
固定資産除却損	12,326	—
投資有価証券評価損	—	3,407
本社移転費用	44,280	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	11,171	—
特別損失合計	67,778	3,407
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△57,757	152,983
法人税、住民税及び事業税	1,890	105,911
法人税等調整額	△23,336	△41,613
法人税等合計	△21,446	64,298
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△36,311	88,684

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△57,757	152,983
減価償却費	45,135	31,426
固定資産除却損	12,326	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	3,407
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△19,000	36,000
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△85,857	5,625
受取利息及び受取配当金	△6,033	△4,759
支払利息	418	401
売上債権の増減額 (△は増加)	224,434	318,193
仕入債務の増減額 (△は減少)	△69,038	△15,849
未払金の増減額 (△は減少)	46,468	7,472
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△17,256	14,852
その他	15,174	△58,660
小計	89,013	491,092
利息及び配当金の受取額	6,095	5,132
利息の支払額	△414	△404
法人税等の支払額	△19,166	△19,622
営業活動によるキャッシュ・フロー	75,527	476,197
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	300,000	200,000
定期預金の預入による支出	△300,000	△200,000
有形固定資産の取得による支出	△61,965	△2,173
無形固定資産の取得による支出	△45,173	△73,418
投資有価証券の取得による支出	△3,116	△3,172
差入保証金の差入による支出	△47,471	—
差入保証金の回収による収入	85,511	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,216	△78,763
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△150,000	△150,000
配当金の支払額	△76,559	△101,938
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76,559	△101,938
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,911	△1,819
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△76,159	293,675
現金及び現金同等物の期首残高	1,852,365	1,653,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,776,205	1,946,938

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。